

地球温暖化

日本の平均気温は100年間で約1.1℃上昇しており、最低気温が氷点下の冬日が少なくなるなどの変化が見られます。世界的にも気温は上昇して熱波や大雨・干ばつが増えており、生態系や水、食料、健康などに深刻な影響がはじめています。

特に20世紀後半からの気温の上昇は地球温暖化問題として認識され、人間活動による二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が主な原因である可能性が高くなっています。

気象庁は岩手県綾里、東京都南鳥島、沖縄県与那国島で二酸化炭素などの観測を続けており、海洋気象観測船でも海上の大気と海水中の二酸化炭素などの観測を行っています。また、温室効果ガスの増加を仮定して100年後の気温予測も行っており、次のような可能性があるとして発表しました。



- ・気温は現在より2～3℃高くなり、北海道の一部では4℃程度上昇する。
- ・温室効果ガスの排出量が多いほうが気温の上昇が大きい。
- ・日本のほとんどの地域で雨または雪の量が増加し、北海道では雪の量が増える。

二酸化炭素を増やさないためには、次のような工夫が大切です。

- ・カーテンにより温度調節をしたり、冷房・暖房の温度を控えめにする。
- ・電化製品を長時間使わない時はコンセントを抜く。
- ・エコドライブを心がけたり、公共交通機関を利用する。

稚内地方気象台は関係機関と協力して、北海道地球温暖化防止活動推進員の森田裕子さんをお招きして地球環境講演会を開催します。楽しく学べる講演会ですので、多くの方の参加をお待ちしています。

○テーマ：「あのエコ、このエコ…どれが効果的!？」

～もっと地球に優しく、もっとお得なエコ生活～

○日時：平成25年1月26日（土）午後1時30分～午後3時30分

○場所：稚内市立図書館 多目的ホール

○参加費：無料（直接会場へお越し下さい）



※稚内地方気象台ホームページアドレス [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html)

※問い合わせ先 稚内地方気象台防災業務課（電話：0162-23-2679）

2月7日は北方領土の日

わが国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方4島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

「日魯通好条約」署名の日（1855年2月7日）を記念して、2月7日を『北方領土の日』と定め、北海道では、1月21日から2月20日までを「北方領土の日特別啓発期間」としています。

幌延町でもこの期間、役場町民ホールに「北方領土返還要求署名コーナー」を設けますので、署名にご協力をお願いいたします。